

カレッジ里山

花実の森 活動報告(2025 年2月)

第 154 号

活 動 日		時 間	天候	記録者
2025 年2月 4日(水)		9:30~12:00	(晴)	(菅 田)
2025 年2月 26 日(水)		9:30~12:00	(晴)	
参加者氏名 (5+7 名)	(2 月 4 日) 田路、黒子、樋口、菅田、伊牟田 他里山グループ			
	(2 月 26 日) 田路、黒子、清水、樋口、菅田、塩ノ谷、伊牟田			
今回実施した 作業内容	(2 月 4 日)			
	1. 先月実施して林内に仮置きしていたコナラ間伐材のシイタケほだ木を、シイタケ植菌場所まで運び出し、種菌の植え付けを実施後、2 か月ほどを仮伏せ期間とする。			
	(2 月 26 日)			
	1. 残っていた間伐材の小枝部分のチップがけ作業の実施。今回で一区切りとする。 2. 林縁部及びカレッジ駐車場の片隅の吹き溜まりとなっていた落ち葉の集積作業。後日堆肥化兼カブトムシ産卵場所エリアへ運ぶこととする。			

写真記録

2月4日



ホダ木を種菌植え付け作業場所まで運び出し



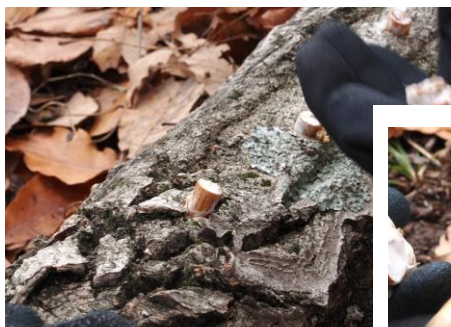
25本のホダ木がスタンバイ。



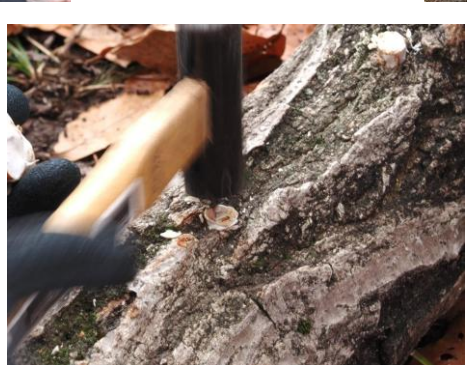
一般的な植え込み間隔のピッチで専用ドリルによる穴開け作業が進む。



里山グループが受け入れておられる神戸大学農学部 of 学生さん (今月は女性2人) も大きな戦力に。



種ゴマを植え込み、木槌や金槌で叩き込む



植菌完了のホダ木。この後 2 か月ほどは寒冷対策と保温を兼ねての借伏せ。次回寒冷紗をかぶせる作業を実施。

2 月 26 日



1 月に運び出せずに残っていたコナラ間伐木小枝の搬出



溜まっていたチップがけ用小枝の処理。



今季予定していたチップがけは完了。大きなチップの山ができた。まだ林内所々に残る小枝を搬出次第適宜チップがけ処理を実施する予定。



林縁部及び駐車場内に散乱する落ち葉を 5 か所の山に集積。後日林内腐葉土化、カブトムシ産卵エリアへ移す。

活 動 日		時 間	天 候	記 録 者
2019 年 2 月 14 日(木)		9:30~12:00	(曇り)	(菅田)
2019 年 2 月 27 日(水)		9:30~12:00		
参加者氏名 (12 名 + 11 名)	(2 月 14 日) 菅田忠志、黒子兵吾、塩ノ谷年子、清水英輔、俵 貴志子、田路義弘 中西 優、橋野美子、松本治美、水島康夫、山田喜義、米倉 進			
	(2 月 27 日) 磯野彰夫、菅田忠志、黒子兵吾、塩ノ谷年子、中西 優、橋野美子、 松本治美、水島康夫、山田喜義、米倉 進、南木久恵			
今月実施した 作業内容	1. 2 月 14 日に林内に散乱していた台風被害木を入り口倉庫前に集積、2 月 27 日にそれを チップに掛ける作業を行った。 2. 2 月 15 日に里山グループがコナラ 2 本を間伐し、シイタケほだ木用に玉切りまで完了して いた材を今回穴あけ、種コマ植菌作業を実施した。			
写真説明	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <p>チップ処理完了ですっきりした倉庫前。少しずつ 増えてくるチップの山は、子どもたちと一緒に作る 今年のカブトムシ産卵場所用には足りるだろう。</p> <p>今月は、1 月及び 2 月 1 回目の活動日に集めてきた林内の“台風被害散 乱木”をチップパーによるチップがけ作業を女性メンバーに任せて処理して もらった。倉庫前に山積みしていた小枝は見る見るうちにチップ状に加 工され、今年のカブトムシ産卵・生育場所用はかなり溜まってきた。女性 メンバーのみなさんご苦労様。林内にはもう少し残っているのでよろしく。 次回は、このチップに村内の馬事公苑から馬糞たい肥をもらってきての 養分補給も大切な作業のひとつ。年間通じていろいろあるものです。</p> <p>2 月 15 日の里山グループの活動日に、コナラ 2 本の間伐・玉切り作業がなされたので、今日 はその約 50 本の搬出と、シイタケほだ木とし て活用するためのシイタケ種ゴマの植え付け 作業(穴あけと種コマ埋め作業)を実施した。 種ゴマは 400 個入り 2 ケースを用意したが、 半数のほだ木用が残ったのであと 800 個購入 し、次回打ち込みを行う予定。 (シイタケ種ゴマ 400 個入り 2,000 円、今年は 4 箱購入 8,000 円)</p>			



シイタケ種コマ埋め込み部に穴あけ作業



種コマの打ち込み作業



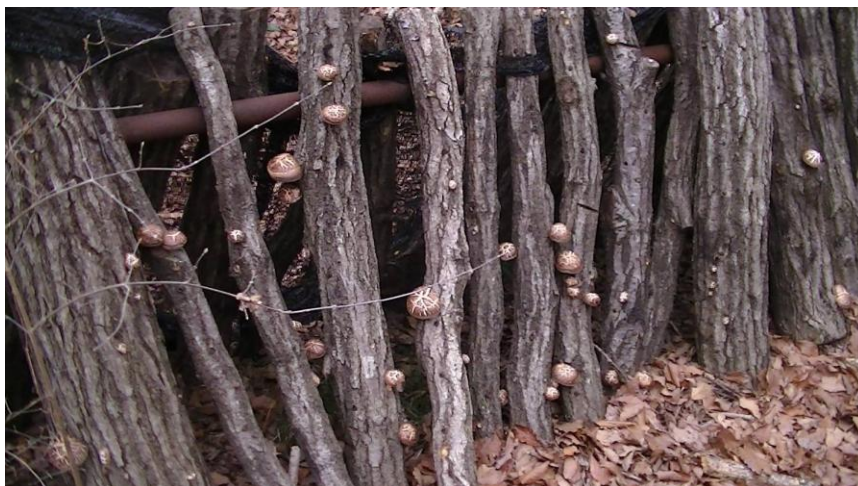
植菌が終わったホダ木



植菌作業が完了しなかった原木は乾燥防止のためブルーシートで覆っておくことに。



植菌が終わったホダ木は梅雨前まで仮伏せ保管



作業をしている近くでは、一昨年以前のホダ木から次々と若いシイタケが育っている。年間数回訪れる収穫期、今年の若木にも来春以降の収穫への期待が膨らむ。